



～1月のみずべ風景～



＜おもちゃ病院＞

12日の午後におもちゃ病院のドクターさんが4名みずべに来て下さり、こども達のおもちゃを治して下さいました。当日治らないおもちゃは入院となりました。大事な玩具はずっと大切にしたいですね。



センターからのお願いとお知らせ

- ・ベビーカーでお越しの際には畳んで置いていただくことになりました。
- ・自転車には貸し出し製の駐輪札を付けてください。
- ・みずべカードはお子様に持たせず大切に保管して下さい。
- ・リフレッシュひととき保育の登録は、月曜日の10時～16時（12時～13時は除く）の間にお越し下さい。持ち物は母子手帳です。ご不明な点はお気軽にお声かけください。

有明子育てひろば

2月5・19日（月）
10:00～12:00

有明スポーツセンター レクリエーションホール3階
19日(11:10～11:40頃)は、リミックスです。
体を動かして遊びましょう！お問い合わせ

ファミリー・サポート

利用会員登録 出張説明会

2月3日（土）10時～11時半

☆開始時間を過ぎてからの参加は出来ません

対象：区内在住、生後57日～小学校3年生までの保護者 定員：30名
（申込順）受付：12月18日（月）から

☎03-5683-1573（ファミリー・サポート・事務局）

※説明会にお越しの際はみずべカードをご持参下さい。

※予約制ですので、当日の受付はできません。

双子ちゃんのつどい

2月17日（土）
10:00～12:00

子育ての大変だったこと、嬉しかったこと、工夫していることなど伝え合ってみませんか？
今回はみんなで写真を撮りたいと思います。是非、ご参加下さい！お父さんの参加もお待ちしております。

みずべすこやかMONDAY

2月26日（月）
10:30～12:00

発達に心配や、しょうがいのあるお子さんを対象にしたプログラムです。お母さん同士お話をしたり、こども達はのびのび遊べます！

江東区豊洲子ども家庭支援センター みずべ （江東区 指定管理者 社会福祉法人景行会）
〒135-0061 東京都江東区豊洲 5-5-1-201 TEL 03-3536-7681 FAX 03-3536-7683
E-mail toyosukosodate@ka.baynet.ne.jp URL <http://koto-kosodate-portal.jp/mizube/>
(相談専用 03-3536-7682)



126号

江東区豊洲子ども家庭支援センター

(指定管理者)

社会福祉法人景行会

理事長 齋藤彰平



かもめつうしん



2018 2月号

戌年の犬のはなし

「平成」の年号もあとわずかとなります。平成元年を迎えた時、テレビで「平成」の文字を見たシーンを今でもはっきり覚えています。次の年号はどのようになるのでしょうか？今から気になります。安心の「安」とか平和を願い「和」とか、だれもが協力し合いながら生きられるように「協」など漢字がたくさん浮かびます。次の世代が繁栄するような素敵な年号に期待が膨らみます。

今年は戌年。我が家には年女のミニチュアダックス犬が1匹います。名前は「チョコ」、犬年齢で12歳、人間でいうと55歳くらいでしょうか。口周りの毛はだんだん白くなってきて、シミが出てきて、寝ている時間が長くなり、私よりどんどん先に年をとっていく姿を見ると心寂しくなります。

チョコが我が家に来た日、本当は違う方の家で飼われるはずだったのに、たまたま途中休憩で寄った我が家でとてもじょうずに甘え、その仕草でみんなの心を驚かすに似て家族の一員となったのです。突然、生後2か月の犬の世話をすることになった私は四苦八苦したのを思い出します。食べ物や飲み物、トイレはどうしたら良いのか？暑いのか寒いのか？喋らない、命ある者をお世話するプレッシャーに押しつぶされそうでした。友達に動物病院を紹介してもらい、初めてチョコの予防接種を受けた時、私の健康保険証を提示したら、看護婦さんに「必要ありません。犬は実費です」と笑われ、恥ずかしかったのを思い出します。人間の保険はきかないですね、知らないという事はこういう事なのだと思います。

予防接種が済むと、いよいよ公園デビューとなります。「社会性を身に付ける為、他の犬たちとのふれあいは大切」と聞きました。犬友の間には様々なルールがあって、お局犬と匂いを嗅ぎ合って認められると晴れて仲間入りできるなど、衝撃的な世界にびっくりしました。飼い主同士はまず犬の名前、男の子か女の子か？何歳か？などを質問し合った後、私は「チョコちゃんママ」と呼ばれました。そのように呼ばれたことが初めてだったので、くすぐったいようなちょっとした違和感を覚えました。先日、センターでも初めて赤ちゃんと登録に来てくれたお母さんが、シールに名前を書くときに自分の事を「〇〇ちゃんママ」と書くことに抵抗があると言っていて、その気持ちわかる！と思いました。あの頃を思い出して、私も私の名前と呼ばれたいと思っていたな…そんな気持ちがよみがえりました。

犬の事と、人間の赤ちゃんの事を一緒にしたら怒られるかもしれませんが、命あるものを一生けん命に育てるという事は、とにかく誰もが真剣で四苦八苦なのです。子育ての世界も今までにない初めての世界。知らなくても恥をかいても大丈夫、「こんな些細なこと聞いても良いのかな？」という方も結構いるのです、どうぞ遠慮なく聞いてください。

センター長 川北 抄子